

## 2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成 資金分配団体公募 採択事業

事業名 主題	北海道リスタート事業
事業名 副題	社会的居場所を失った人に新たなつながりを
対象地域	北海道
団体名	特定非営利活動法人北海道NPOファンド
代表者名	代表理事 樽見弘紀
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動；①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援；②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援；③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援、2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動；④働くことが困難な人への支援；⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援、3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動；⑥地域の働く場づくりの支援；⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
事業の概要	コロナ渦において、（１）社会的なつながりを失った人に新たなつながりをつくりだす。また、（２）社会的なつながりを失った人を新たな市民活動の担い手（ボランティア等で活動へ参画する/スタッフとして雇用される、など）として育成する。（１）（２）の事業を担う実行団体への資金支援・非資金支援を行い、市民活動団体が従来つながっていなかった若者・困窮者などの人材や資源を活用することで、市民活動を再スタート（リスタート）し、新たな担い手・新たな居場所を創り出すとともに、市民活動を活発化させることを目指す。
事業期間	1年
助成額（円）	61,677,000

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会課題、実行団体の事業内容の例示までわかりやすく、事業実施のシナリオが伝わってきました。課題の対象となっていた方が新たな課題解決の担い手になるという視点はとても良いと思います。チャレンジングな事業で期待します。</li> <li>・広域の北海道をカバーする手法としての3団体連携に加え地域のNPOサポートセンターとの協働での伴走支援を評価します。</li> <li>・コロナ禍による社会課題を、北海道の地域の資源で解決する方向は望ましいと考えます。ユニークで持続性のあるプロジェクトが育まれるような支援を期待します。</li> <li>・シェルター、アーティスト支援は、中長期の取り組みが必要です。今回助成後の支援の継続性について検討をお願いしたいと思います。</li> </ul>
--------	--

※審査コメントは、審査時点（2020年7月初旬）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2020年8月中旬）のものです。